

学校だより



10月号

出雲農林高校 PTA

二年生 国内起業研修旅行

視野が広がり、引き出しが増えた、十五年から、山陽方面へ泊三日の研修旅行に出かけました。これは、起業家精神に富む専門的職業人を育成するという目的で実施しています。先進的な企業、普段見ない地域を見学して新しい自分の能力を発見することが出来ました。研修後の生徒の表情は、活き活きと充実感に満ちていました。



(最先端の技術に驚き・感動)

環境科学科二年 安藤唯夏
「泊三日で、研修先の場所の一つ一つの作りや歴史、良さを学ぶことが出来ました。私は造園の勉強をしているので、姫路城の庭園や茶庭を見学して多くの知識が身に付きました。また、団体行動なので「コミュニケーションの輪に自分から積極的に入っていくかなければならないことにも気づけてとても嬉しく思っています。」

安全安心

植物科学科二年 横木 万里
夢ファーム永末では、減農薬や有機栽培にこだわっておられ、とても良いことだと思いました。今は、世界でも日本でも食の安全が問題に

自分にプラス

食品科学科一年 永見沙希
カバヤ食品や廣榮堂では、安全で安心なものをづくり愛されるという目標を

目指していた農ク全国大会に参加して

農業クラブ佐賀大会
本校から十三名が参加し、四名が優秀賞となりました。
「絶対」という自信
情報処理競技代表 曾田陸
緊張して自分の力を充分に発揮できませんでした。絶対に一位をとるという自信があとには不可能なことではありませぬ。緊張しなかったと思いきや、粘り強く最後まで諦めな

不可能ではない

家畜審査競技代表 常松歩
全国の舞台に立てて光栄でした。プロシヤで、勉強の成果を十分に発揮することが出来

普段から

鑑定競技代表 吾郷美幸
大会では、落ち着いて最後まで諦めないという気持ちを持ち、良い成績を収めることが出来ました。
競技では、細なことで何気なく目にする雑草名も出題されます。普段から周りを見て勉強する事が大切だと思います。



集中して審査

「企業の姿勢が参考になりました。また、その気持ちを持たないと良いものは作れないと思うので就職した時に大事にしたいと思っています。自分にとってプラスになる事をたくさん知ることができ、充実した研修でした。」

動物科学科二年 吉田圭祐
最も印象深かった施設は、岡山動物愛護センターです。数日で処分される命を目の当たりにして、とても残念な思いになりました。それも、一日に数匹運ばれてくることを知り、飼主の勝手さに怒りも覚ええました。研修で得た多くの知識を、学校生活で十分に活かしたいと思います。

一年生出雲地域 農業視察研修会

新しい知識を活かせるように
植物科学科一年 陰山雅裕
今回の研修で新しい発見が多くありました。あかぎファーム今在家では、イチゴにもたくさん品種があることや農業機械の重要性も知りました。得た知識を充分活かせるように頑張りたいです。

経験を大事に

環境科学科一年 伊藤廣平
県民の森で森林セラピーについて学びました。効果は医学的に解明されていたことを知り、大変驚きました。研修で学んだことを、授業などの場で活かせるようにしたいです。また、こうした経験を大事にし、将来について考えていきたいと思っています。多くを知り大変良かったです。



達成感

食品科学科一年 山根優希
木次乳業や興出雲ワインを見学しました。販売方法の工夫点や製造方法が勉強できました。どの仕事も大変そうだったけれど、大変だからこそ達成感が大いと思うので、私も将来は納得の出来る仕事に就こうと思えました。

仕事をやる上で大切なこと

動物科学科一年 中山将太
中酪やコトラスを見学しました。研修では、安全で美味しい食品を提供するための衛生管理、動物の命を大切にすることが最も大切なことだと学びました。後まで責任を持つことの大切さを勉強しました。学んだことを参考に、将来自分がどんな職業に就きたいかを考えていきたいと思っています。

国際交流で出農の魅力

フィンランド学生訪問
動物科学科二年石飛なびき
今年の四月にフィンランドで二週間のホームステイをしました。そこでは、全員が家に帰ったら必ず宿題をしなければならず感じた。家庭学習の習慣化が必要だと感じました。今回は、本校に来校されて交流をしました。接していて質問が多く、積極性や興味、関心が高いと感じました。この姿を見て、もう少し自分の意見を言えるようになりたいと思います。今後もしっかりと

「生徒の品格」
一学期のフィリピン・中国に続き、フィンランド生徒十六名が来校し、バイオ学習や交流会や部活動をするなど本校生徒と交流を深め充実感をもって帰国しました。
本年の二カ国の生徒と本校生徒の振る舞いを見て、両者に少し違いがあることに気づきました。本校生徒が少しばかり品よく見えるというところです。座っているだけでも違いがありました。食事をすると、食べ方が作法だったり、片付けができなかったり、両者の違いが歴然としました。



(芋ほり体験)

これは一つは文化の違いによるものでしょう。幕末に来日したシウラーマンが、日本について世界で一番清潔な国民である、どの国にも増してよく耕された土地がある」と評していますから、古くからの日本の文化によるものではないでしょうか。二つは、本校生徒が、場と他者を意識しているということです。これは公の場であるとか、お客さまに失礼があつてはならないとか、そういう意識をもっていたからでしょう。三つは、生徒の品の良さは日本の文化とこれまでの家庭でのしつけと本校等の指導の成果だと言つてもよいのではないかと。

学校長 佐野 明

11月の行事予定

日	曜	項	目
1	土	島根県家庭クラブの日	CS
2	日		島根県産業教育フェア
3	月	文化の日	
4	火	授業公開	
5	水	全校朝礼、CS	
6	木	基礎力診断テスト(1,2年)	
7	金	進路希望調査(1,2年:21日締切)	
8	土	CS	
9	日	ウエイト新人戦(本校)	
10	月		
11	火		
12	水	全校朝礼	
13	木		
14	金	農業祭(1日目)	
15	土	農業祭(2日目:一般公開)	
16	日	危険物取扱者試験 第2回英検2次	
17	月	代休(15日)	
18	火		
19	水	CS	
20	木	考査時間割発表	
21	金		
22	土	CS	
23	日	勤労感謝の日	
24	月	振り替え休日	
25	火		
26	水		
27	木	期末考査	
28	金	期末考査(12/2まで)	
29	土		
30	日		

家庭学習の重要性

教務部長 片山 誠

試験結果について
 九月三十日から十月三日まで、2学期の中間考査がありました。試験結果を御覧になられたと思いますが、全体の傾向をお知らせします。まず、平均点が八十点以上と大変努力している成績優秀者ですが、昨年度より成績が低下している生徒もいます。これは、大変素晴らしいことだと思います。しかし、欠点数は昨年度全校で419個あったものが、今年度は520個と大幅に増加しています。欠点保有者数でも昨年度より増加しています。これは、大変素晴らしいことだと思います。しかし、欠点数は昨年度全校で419個あったものが、今年度は520個と大幅に増加しています。欠点保有者数でも昨年度より増加しています。

ブランド

PTA評議員 渡部 晴美

最近、食品の産地偽装や異物混入、期限偽装などのニュースが続きました。その度、我家の冷蔵庫になかったかお弁当のおかずに使ってなかったかドキドキしました。スーパーで買物する時も、どこまで正しい風にならされたものなのか気になります。

チャレンジショップやイベントでの即売会で、たくさん人が出向かれるのは、一生懸命、真剣に作られた物であり、動物達も大切にされていると感じられるからでしょうね。日常の世話や作業など、机上の勉強や部活に加え大変だと思えます。その積み重ねが「ブランド」として、私達保護者に見えるのです。

生徒の皆さん、そして指導して下さる先生方、いつもお疲れ様です。そしてありがとうございます。今年も農業祭の即売が楽しみです。

学期中間は全校で二十一名と少し増加しました。これは、大変素晴らしいことだと思います。しかし、欠点数は昨年度全校で419個あったものが、今年度は520個と大幅に増加しています。欠点保有者数でも昨年度より増加しています。

(研修旅行中の学習風景)



一八七名が今年度二一名と増加しています。

予習・復習の大切さ

大変意欲的に取り組み努力している生徒と、学習に無気力で学校生活以外に興味を持つ生徒の両極化が進んでいると心配しています。高校の勉強は試験前の一夜漬けでは不十分です。毎日、少しでも家庭で予習・復習をすることが大切です。ご家庭でも、少しでも家庭学習ができるように指導下さい。

(グループ討議の様子)



☆PTA評議員会報告☆

二十一日(火)会議室において第三回のPTA評議員会を開催しました。お忙しい中二十五名の出席をいただき、夏季研修会・学校整備事業の報告や三年生の進路状況の説明がありました。また、一年から三年までの進路指導計画と実施状況の説明がありました。農業祭でのPTAの関わりについては出店する方向で話が決まり、今度十一月六日午後六時三十分より会議室において話し合う予定になっています。

☆緑の多い学校に☆

一年生 入学記念植樹

二十三日、本校農場西側の築地松に沿って植樹を行いました。これは、平成十五年より、学校公園化計画の一環として実施されています。

参加生徒「又々」

大切に管理して、地域の方々に見てもらいたいです。

農業後継者になりたいと思って入学しました。苗木と共に、心と体をしっかり成長させたいです。

和牛の出荷

動物科学科三年江角理沙

農業祭で精肉を販売するために、和牛を出荷しました。家畜は私達が生きる上で必ず命を落とさなくてはなりません。これは仕方のないことで、救えない。

☆全校生徒で「海苔巻き」大作戦☆

農業祭の準備、着々と

加工実習 栽培活動など農業祭に向けて準備が進んでいます。また、十一月十四日には全校生徒海苔巻き作りを実施します。初の試みですが、心を一つに一本の海苔巻きを完成させ、達成感のある農業祭にしましょう。

編集後記

動物科学科2年生の生徒が、チャレンジショップの活動で動物の着ぐるみで接客したり、バルーンアートを作ってお客様にプレゼントしていました。これは、「お客様に楽しんで貰う物を作ってもらおう」という考えから生まれた発想です。来店しただけで、

農業祭一般公開

十一月十五日(金) 九時~十四時十五分

*即売は十二時十五分終了です。

野菜栽培

美味しさを食卓へ

植物科学科二年田中勇人

農業祭に向けて多くの野菜を栽培しています。作る上で農業を極力使わず、野菜に傷をつけないように丁寧に作業しています。品質の向上など、今後は更に気遣いながら収穫を迎えたいと思います。この美味しさを、是非食卓で味わって下さい。

子供達からも大好評でした。リスクを考えると、自分たちの発想を実行に移すことは勇気が必要です。しかし、失敗から学ぶことは数多くあります。ぜひチャレンジして自分の能力を引き出し、高めてください(甲)

環境科学科 校地整備

武道場の正面にある九本のコクワネモチを、六本は玄関前の庭園へ三本は武道場の横移動しました。校内環境が整備され、景観も良くなると共に、生徒が活動できる幅も広がることができました。

武道場前に広く開いたスペースは、部活動の準備運動などで有効に活用して欲しいと思います。(武道場前の風景)

動かすと見えてくる新たな可能性

